

概要

Q いつからある認証制度ですか？

A 2020年5月にスタートしました。

Q サクラインターナショナルは、日本で唯一の代理店ですか？

A 現在は当社サクラインターナショナルが総代理店に指名されています。ただし当社を通さないと申請ができないわけではありません。

Q GBAC STAR 認証の強みは何ですか？

A グローバルかつ、地域ごとの基準を尊重した認証です。母団体である ISSA が清掃・消毒分野の業界団体なので、感染症対策の知見が豊富です。第三者視点でサステナブルな運用ができるかを評価します。とくにインバウンド需要の高いホテルや MICE 施設にお勧めです。

Q 日本での取得事例を教えてください。

A 著名な高級ホテル様をはじめ、認証取得が進んでいます。こちらから最新情報の検索が可能です。

<https://gbac.issa.com/gbac-star-facility-directory/>

Q 申請にはどれくらいの期間がかかりますか？

A 必要書類を提出してから担当エキスパートとのコミュニケーションが発生します。

その際に要求された書類の提出が遅れたりすれば当然認証も遅れます。

ケースバイケースでハッキリとは申し上げにくいですが、4 - 8 週間程度を

想定してほしいとされています。コンサルタントサービス

をご依頼いただいたお客様には、申請・認証プロセスが短縮できるような書類もご用意しています。

Q 実際に申請を出しても却下されるということはあるですか？

A 担当エキスパートがフィードバックとコミュニケーションを経て、認証に導くよう着地点を探って行きます。申請を提出してから認証までの間に「認証取得申請中」を PR するフローが盛り込まれていることから、自らギブアップしない限りは申請を却下されることはないと考えていいでしょう。

Q ひとつの会社で 20 カ所の貸し会議室を管理しているのですが、申請はロケーション単位ですか？

A 基本はロケーション単位ですが、各施設が似たようなタイプで、管理項目も同様であれば、運営会社での申請も検討できます。当社で GBAC 本部に問い合わせします。ご相談ください。

Q 現地査察がありませんが、書面と実態の差異の発生などについてはどのようにお考えですか？

A 申請項目は感染症対策のエキスパートによって監修されており、計画と実態に乖離が出た場合には明らかになるような設計になっています。
また、現地査察を行わないことにより、関係者の感染リスクを抑えるとともに、承認プロセスの短期化とコストカットも実現しています。

Q 価格表に載っているのはスタジアム、コンベンションホールのような施設、またはホテルなどですが、サービス業では申請できないのですか？

A 可能です。観光バスツアーの運営会社様の申請をお受けした例などもございます。ぜひ当社までご連絡・ご相談ください。

Q 現在施設は未完成。開設と同時に認証取得したいのですが？

A あらかじめ本部と相談のうえ、事前に手順・仕組みを確定させておけば、可能です。

Q 貸し会議室の場合、申請対象エリアは一般の人の出入りがあるエリアのみですか、もしくはバックヤード、通路や共用部も入りますか？

A GBAC 認証自体はお客様のみならず従業員・外注先も含めた施設のすべての関係者の安心・安全を目的としています。
したがってバックヤードも含めた申請が必要です。

Q 清掃・消毒に関する内容がメインになるのですか？

A 感染症対策に重点を置いているので、そうなります。

Q コンサルタント業務とは具体的に何ですか？

A 申請書類を GBAC 本部に提出する前にスクリーニング、フィードバックしたり、書き方や内容等についてのサポート・アドバイスです。

審査

Q オンラインのみで実地検査はないという理解で良いですか？

A はい、その通りです。

Q オンラインのみの審査で信頼性は担保できますか？

A オンラインの申請ですが、資料さえ揃えばすぐに認証されるというニュアンスではありません。資料については、オンラインだけで済むようにチェック項目が多数あり、実際の実施フローと申請フローの整合性がとれてはじめて認証となるように作られています。

費用

Q サービス内容や金額のわかる料金表のようなものはありますか？

A 申請費用は1年間有効で最低約5万円からと非常にリーズナブルです。当社にコンサルティングおよび提出費用の英訳などをご依頼いただく場合には別途費用がかかります。こちらは申請されるビジネスの内容・規模で異なりますので一度ご相談いただければ幸いです。料金表もございます。

Q 翻訳費用について教えてください。

A 申請20項目のテンプレートへの回答分の英訳はコンサルタント費に含まれます。そこから先の追加資料（回答への裏付けや説明資料等）は別料金です。英訳作業をお客様で外注手配していただくことも可能です。

Q 2年めの更新時の費用はどうですか？

A まず、申請は1回目と同様の申請になりますが、初年度と違いゼロから申請書を作るわけではありません。申請料自体が安くなるということはありませんが、英訳について当社を含む外注で考えられている場合は、トータルでの費用削減が期待できると思います。